

御案内
新譜取揃ました
時代劇映畫説明物等々




新學期入學祝に
腕用時計を
會田時計店の
勉強振を見て下さい
電話三六三番

代表的逸品揃
セルとネル
帶皮等
時選されたる春の流
行品が入荷いたしま
した
中野吳服店
電話六十七番

忘る、勿れ
平町の代表的
玩具問屋
糸類問屋
平町二丁目
金森下店商
まめや号

常新新聞
日刊
發行所 常新新聞社
印刷所 常新新聞社
電話六三〇番



定部金貳拾五圓
一ヶ月卅圓
三ヶ月九拾圓
半年一拾八圓
一年三拾圓
廣告料
第一行五圓
第二行四圓
第三行三圓
第四行二圓
第五行一圓
印刷費別取
日曜大衆
休刊日
祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三三
發行所 常新新聞社
電話六三〇番

刊夕日八十月四

松ヶ岡公園の櫻花は今真盛です、皆様お花見お出掛の際は——是非當店にお立寄り下さい……
おかわきのお方には番茶を差上ります
平町古鍛冶町縣社下(電話四四番)
阿康藥店
(ムテキ)は、はれものによくきます

本邦噴霧器界の權威
舶來品に優る堅牢無比
牛田式噴霧器各種
理化學研 吳樹森藥毒藥
究所新製 ネオトロン 原藥
新入荷 石灰窒素肥料
ネオトロン、石 平町二丁目
灰窒素説明書御
申越次第進呈
西村屋藥舖
電話三番

南部鐵瓶 日賦御便宜ニ致シマス
ホーキンス爐力ギ 大中小……精巧優美
各種……ナ作デス
南町廿九番地
南部屋

町平
町屋
吉田眼科醫院

標商錄登
命
醬味鯉酒罐
油噌節類詰
食品
屋問造製

貸地
平の山の手の稱ある胡摩澤の高台
縣社八幡宮裏手に參千餘坪
貸空家
一ヶ月家賃 七、二〇
一ヶ月家賃 七、〇〇
附近の重なる建物——八幡宮。中
學校。裁判所。小學校。女學校。
水道電氣の取附容易
御希望の方は左記へ御來訪下さい
四丁目
電話二二四番
マツモトヤ
百澤商店
電話一二番

多人數のお茶菓子として
大歡迎のお菓子
森永徳用ビスケット 特價百々二十錢
ヨーチエン 同 同 二十錢
ビスケット 同 同 十八錢
目丁四町平
ヤトモツマ
番四一二話電

松ヶ岡カフェーの
開業一週年記念
福提
引供
一圓以上の顧客に
洩れなく福引進呈
是非
た立寄りを……
平町研町通り松ヶ岡カフェー

鹽屋山崎合名社會
電話 營業一部 〇番
電話 工場 七二番

腸胃 內科 專門
腸十二指腸 病
梅毒 婦人病 專門
肛門病 病
松村病院 町南平
電話一七〇

常警毎日新聞
新時代の新高賣
(三) 清水正巳

只既製洋服ばかりは出來たものを賣るのであるから埒が早い、どんな商賣でも全然商品に對して無知識で始められるものでない、無論既製洋服を販賣するにしても一通りの知識は必要であるが此一通りの知識はキモノを扱つたりお誂への洋服を賣つたりするのと事違ひ素人にスグに覺えられる知識なのである、問屋に教へて貰へばスグに覺えられる知識なのである、だからか

より易いのである、成程東京や大阪其他の相當な都會には既製服専門店が随分出來た都會人はだいたい既製服を着る様になつたけれども地方へ行くとまだ「さうではない。既製服は全く之れからの新しい商賣と云ひ得るのである、イヤ東京や大阪でも既製服は新しい商賣と云ひ得るのである、何故なら既製洋服は大體アメリカの販賣法から來たものであるがアメリカではお誂へ同様完全なものを大量生産に依つて安く賣るのである、それ故に既製服を買つても生地はいゝし仕事は完全だしそれで安いの

だから難有くなる。一着づつ洋服を作るのと數千着同時に生産するのとどんなにお値段が違ふかそんな事は説明する迄もあるまい處が現在東京や大阪でやつてゐる既製品は柳原や谷町の軒に吊つてある安物洋服に毛の生えた位のものにあらずんば、即ち品質を自慢する位のものであるならば夫れはお誂へと殆んど變らぬ高價な既製服である。それでは何もならぬお誂への如く完全でスタイルもよくて而も値がお誂へより二割も三割も安いと云ふ事にならなければならぬ (つゞく)

本紙の愛讀者諸君へ

巖谷先生から書信

川崎本社長の恩師

親愛なる常警毎日新聞愛讀者諸君、私は一つの喜ぶべき事實を諸君にお知らせ致します、夫れは同紙の經營者である川崎文治君が過日東京放送局に於て爲した二度目の童話放送に就いてであります。同童話は同君獨特な即興的の節を附した歌に依つて話の筋を運んで行くといふ一種のラヂオ童話の新機軸としての意味から童話研究の注目を惹くものとなり自分も時間を割いて是れを聞いた一人であります。然るに當日の出来事は實に非常なものでありました、私は近來に於ける放送童話中に於ける白眉として是れを推奨するにはばかりません、のみならず放送局の道滿講演係長も私に對して「實に見上げた講演振りである、地方に置くのは惜しい」と褒めて居た言葉には川崎君と私の關係を知つての一種のお世辭とのみは受け取り難い力強さがこめられてありました、私は川崎君が東都に於ても實に押しも押されぬ童話家の一人として總べてこの習練を積まれた事を裏書します、今後同君に望む修養は人物の大成長の一つである、愛讀者諸君に於かれては諸君の郷黨を代表する一人の童話講演者を玉成せしむる上に於てどうぞ充分なるお心添へを切に望む次第であります(四月十六日、東京千里閣にて巖谷小波)

三千五百の消防組員平町に集合

藏重警察部長も參列して

けふの聯合檢閲

平町外三町十八ヶ村聯合消防春季檢閲は本日櫻花滿開を機として平町に舉行、先づ午前八時卅分警鐘一點打を起點とし本町通り七丁目迄北側に勢揃へを爲し藏重警察部長を先登に櫻村平署長其他の一行順次人員、服装、機械器具等の點檢を爲し午前九時歩武堂々澤渡組を先登に八幡小路舊警中グラウンドに繰り込み同十時より秩序整全たる操練

幾回か 繰り返へさ

左記消防組に對して藏重警察部長より金馬籠を授與し(上下小川組)學校々庭地均工事 好間組)水道工事

火の見建設其他(澤渡組) 學校々庭地均工事、觀音堂庫裡修繕

次いで優良消防組員として箕輪消防組頭遠藤齊氏以下百四十名を表彰、櫻村平署長の訓示、藏重警察部長の講評、來賓總代伏見平町長の祝辭、各組總代井上平消防組頭及び受賞者總代遠藤箕輪組頭の答辭あつて分列式を行へ午後一時

櫻花は滿開

昨日公園の賑ひ

喧嘩が五組で迷子が四名

晴天に恵まれた昨日々曜の松ヶ岡公園は全く人を以て埋められた花下には並下さざめいて不景氣風も何處へやら呑めよ唄への大亂痴氣、平署の手を煩した喧嘩が五組、迷兒が四名あつた事によつても其景況の程が判る、殊に夜は平消防組が多の犠牲を拂つて風の爲めに滅茶々々になつた雪洞や花提灯を取拂へ東京に人を急派して取寄せた新らたな雪洞や花提灯が光彩を添へて夜更くる迄賑ひは續いた

景氣は上々

平町の花柳界

花見季節に入つた平町新田町花街の昨今は元祿の昔を偲ぶ艶麗なぼんぼりが軒毎に立ちならんで全く魅了した春氣分に包まれてゐる今年のお花見こそはと意氣込んだげあつて一流の藝妓は勿論二流三流どころも相當なお約束があるほどで梅のものと山のものともつ

贋造五十錢銀貨

七十七の平支店で發見

去る十五日午前十時頃平町二丁目第七十七銀行平支店出納課預かりに依る五十錢銀貨中に大正十一年の鑄造にかゝる五十錢の贋造銀貨があるのを發見平署に届け出たので同署では贋造銀貨の出所につき大活動を開始し

結核豫防デーに 平署の宣傳方法

その具體的方針決定

來る二十七日が結核豫防デーとなつてゐるので平警察署にては之れが豫防に關し管下一般民衆の覺醒を促すと共に其豫防方法を周知せしめ之れを實際に行はしむべく左記方法によつて各種運動を行はしむることとなつた

- 一、各地の状況に應じ醫師會その他各種團體と協議を遂げ工場、學校その他適當の箇所にて通俗講演を行ふこと
- 二、ポスター、パンフレットの配布(イ)宣傳ポスターを適當の場所に掲出すること(ロ)「パンフレット」は之を基礎とし學校生徒、兒童、工場、職工その他に對し教員、醫師等より講話宣傳せしむるため必要な方面へ配付すること(ハ)小學校兒童、病院來院者各種工場職工に對し結核豫防デーの趣旨を徹底せしめ「宣傳ピラ」葉の類を各家庭に配付宣傳すること

- 三、縣下各小學校生徒をして當日體育唱歌を合唱せしむること
- 四、各地の状況に應じ各種團體と協議を遂げ「結核豫防デー」又は適當の標語を表示したる大なる移動行燈の類を背負ひ御祭騒ぎに涉らざる様町内を巡回せしむること
- 五、市街地樞要の地點に「結核豫防デー」其他の標語「」を表示したる行燈又は立看板の類を掲出すること
- 六、活動寫眞の幕間を利用し結核豫防に關する標語又は豫防方法に關するものを映寫宣傳すること
- 七、各地の事情に應じ衛生

坑内で突然爆發し

福島炭礦に慘死者數名

本日午前十時頃石城郡赤井村福島炭礦坑内に於て爆發不時爆發し慘死者數名を出したとの報に接し平署より片寄警部補檢視に出張した

記念品を贈呈 今回

の異動により退職したる前平支部豫審判事宇留野義彦氏に對し記念品を贈るべく伏見平町長千葉監督判事小泉上席檢事發起の下に目下同志の賛成を求めつゝあり

會社に挑戦

煽風機は復舊

石城郡湯本町入山炭礦の坑内煽風機破損を動機として

た知らせ 實業の日本社發行「少女の友」五月號には、前號「大砲の打ち方」で好評だつた川崎小島氏のラヂオ童話「花子はどこに」が掲載されてあります(廣告)

起つた爭議に關しては其後會社側に於て是れが修復を急ぎ本日より運轉を開始し通風其他に何等の異状を來さぬ迄の準備が整つたが組合側は昨日夕方より今朝にかけて會社側に對する要求其他挑戰的な宣傳ピラを盛んに撒き散らし演說會等を開いて氣勢を擧げて居る

解散し

たが當日の出場人員は組員四百名中三千五百名であつて成績頗る良く藏重警察部長は口を極めて激賞した因に平消防組員中表彰されたのは左記の諸氏である

小頭諸橋守次、伍長高木福太郎、消防手小松福松、辻金太郎、高岡清一郎、谷野順吉、菊田萬吉、片寄敬太郎